

令和6年度全国学力・学習状況調査結果概要と改善策

【学力調査】 本調査は、子ども達の学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果と課題を検証して改善を図るために行われます。子ども達に身に付けるべき資質・能力の一部について調査されたものです。

正答率が高い領域とその設問について

国語	数学
【話すこと・聞くこと】の領域で 「資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる」設問	【数と式】の領域で 「等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる」設問
【言葉の特徴や使い方に関する事項】の領域で 「表現の技法について理解しているかどうかをみる」設問 「文の成分の順序や照応について理解しているかみる」設問	【図形】の領域で 「事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことができるかどうかをみる」設問
【我が国の言語文化に関する事項】の領域で 「行書の特徴を理解しているかどうかをみる」設問	【データの活用】の領域で 「簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる」設問 「複数の集団のデータから、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる」設問

正答率が低い領域とその設問について

【情報の扱い方に関する事項】の領域で 「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」設問	【関数】の領域で 「二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる」設問
【話すこと・聞くこと】の領域で 「必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる」設問 「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」設問	【数と式】の領域で 「統一的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」設問
【読むこと】の領域で 「目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる」設問 「短歌の内容について、描写をもとに捉えることができるかどうかをみる」設問	【データの活用】の領域で 「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」設問

調査の結果から、今後、以下について具体的に取り組みます

表現の技法や基本的な文章の構成について理解する力、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す力が身に付いています。一方、複数の資料から得られる情報を、目的に応じて整理し、他者に伝えるべき事柄について根拠を明確にして、まとめたり、わかりやすく文章で表現したりする力が不足しています。そのため、本校では、今年度から「読み方レスキュー」取り入れた朝学習も活用しつつ、読み解く力を身に付ける学習を充実させます。	日常から様々なパターンの問題やその解き方に触れていることが、基礎力・連想力の高さに結びついています。一方で、実際の事象から数学的な見方・考え方を働かせて考察したり、判断する場面で、根拠を明らかにしたりして、論理的に考え、数学的な表現を用いて説明する力が不足しています。そのため、本校では、対話的な学びを通して、結論から逆算し順序立てて解法の構想を立てる学習を充実させ、数学的に表現する言語能力を高めます。
--	--

【質問調査等の結果に反映されていると考えられる本校の教育活動について】

旭川小学校との連携・一貫教育を大切にしながら、

- ①児童生徒が主語になる「交流活動」②他者と協力して、考えを広げ・深める「協働的な学び」③自己選択・自己決定による「個別最適な学び」④チーム担任制
⑤タブレットを活用した「主体的な学び」⑥いじめゼロを目指す「人権教育」⑦一人一人の生徒に寄り添う「教育相談の充実」⑧読解力育成のための「読み方レスキュー」
⑨自らの学びを形成する「スタディープランナー」⑩生徒が地域創生の担い手となる「地域学校協働活動」⑪フォーサイト手帳の活用 の導入など、

これらの実践を通して、生徒のやる気や達成感を引き出す生徒指導を重視していることが、規範意識・自己有用感・幸福感の向上に結びついています。また、主体的な学習者として、自ら課題の解決に向けて行動する意識が着実に高まっています。また、一人一人のニーズに応じた「特別支援教育」や安心して学べる「校内教育支援センター」を充実させることで、学びの保障をしてきました。今後も、生徒の主体性を尊重しながら、地域・保護者、そして学校が一体となって特色ある本校の教育活動を推進し、いじめを許さない「世界一優しい学校」を目指して参ります。

旭川市立旭川中学校

調査日時: 令和6年4月18日(木) 調査対象: 3学年生徒



【質問調査】 本調査は、特に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に重点を置いた調査です。

肯定的な回答の割合が高い設問

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う【規範意識】
- 人が困っているときは、進んで助けている。人の役に立つ人間になりたい【自己有用感】
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う【自己有用感】
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている【学習習慣】
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか【主体的・対話的で深い学び】
- 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用した【ICTを活用した学習状況】
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ【国語】
- 数学の勉強は大切。将来、社会に出たときに役に立つ【数学】

昨年度と比べ肯定的な回答が大幅に増加した設問

- 自分には、良いところがあると思う【自己有用感】
- 将来の夢や目標を持っている【自己有用感】
- 困り事や不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる【幸福感】
- 学校に行くのは楽しいと思う【幸福感】
- 地域や社会を良くするために何かをしてみたいと思う【規範意識】
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある・時々ある【幸福感】

肯定的な回答の割合が低い設問

- 新聞を読んでいますか【生活習慣】
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間が2時間以下【学習習慣】
- 学校の授業時間以外に、普段、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか【ICTを活用した学習状況】
- 友達関係に満足していますか【幸福感】
- 普段、2時間以上テレビゲームをする【生活習慣】
- 普段、2時間以上SNSや動画視聴をする【生活習慣】
- あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか【学習環境】

【今後、さらに充実させる取組について】

- ICTを効果的に活用しながら、学校教育ならではの「協働的な学び」を大切にし、「学びの保障」に関する取組を充実させます。また、家庭学習での利用を工夫します。
- かけがえのない命を自他ともに大切にすることができる逆境に負けない心を育みます。また、これをベースに、いじめを許さない、思いやりと奉仕の精神が息づく「世界一優しい学校」づくりをさらに推進します。
- ICT機器に触れる機会が増えてきたことに伴い、本や新聞を含めて様々なタイプの文章やデータを事実と意見を区別しながら客観的に読み解く力が求められています。そのため、各家庭と連携しながら、ネット上での情報を効果的に利活用する「情報活用能力」や、ネットの適切な使用方法・マナーなどの「情報モラル教育」の学習を充実させます。
- 小中連携体育専科指導を活用し、計画的な体力の向上に努めます。